一般質問は、質問のみで 1人 40分。質問回数は制限なしとしています。 ※反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

荘川さくら学園の特色ある教育 課程及び制度の運用について

新政たかやま

平戸芳文

来年度から始まる特認校制度は、学区外か らの就学を認めるという画期的な仕組みだ が、その準備状況はどのようか。さらに、この制 度を契機として、移住・定住へつなげるために、 地域と連携した取組みをどのように進めていくの か。

注川さくら学園を広く知ってもらえるよう、児童生徒や保護者を対象とした、オー プンスクールを10月と11月に2回実施し、施 設のみならず授業も公開する予定。高山市内をは じめ、県内外へも周知することを計画している。 地域と連携し、更なる魅力づくりに努めていく。

増加する民泊に対して の市の考え方について

新政たかやま 水野千惠子



▶ 民泊・ゲストハウスがいつの間にか近所に 声が多く聞かれる。ゴミや騒音問題等のトラブル が起きた際には、すぐ対処できる管理者が常駐す ることが求められる。良質な民泊提供のために、 ガイドラインを見直すことはできないか。

現在、市内の民泊は36軒。ここ数年で急に増えた状況。平成30年に作成した「高 山市民泊ガイドーの作成時から状況が変わってき ており、現在の状況に合った内容への見直しが必

要と考えている。早急に関 係機関と連携し取り組む。



NPO法人高山おもちゃ病 院への市の支援について

新政たかやま

西田 稔

市は循環型社会形成に向け3Rを推進する というが、高山おもちゃ病院が活動拠点に している資源リサイクルセンターの敷地内で、今 後も作業が継続できるよう支援できないか。

おもちゃ病院の作業場所については、当面、 現在の場所で行っていただけるが、不用品 リフォームセンター等の資源化施設は老朽化が進

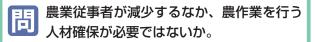
んでいるため、資源リ サイクルセンター全体 の整備計画の中で、作 業ができる場所につい ても検討していく。



農業について

新政たかやま

一回



学 人手不足の状況下において、国や県の支援 要件を外れても農業従事を希望される方が 農業に関わっていただける方法について研究して いく。

効率的な営農をしていく ために圃場整備が必要で はないか。

■場整備は農地の形状を変更させる事業であることが であることから、地域全体の合意形成が必 要である。地域一体となった圃場整備の意向があ れば、県と協議を進めて行く。

